

令和5年度予算審査特別委員会報告書

令和5年3月20日

大山町議会議長 米本隆記様

令和5年度予算審査特別委員会
委員長 池田幸恵
(公印省略)

令和5年度予算審査特別委員会に付託された議案について審査したので、会議規則第77条の規定により下記のとおり報告します。

記

1. 事 件 名

- 議案第29号 令和5年度大山町一般会計予算
- 議案第30号 令和5年度大山町土地取得特別会計予算
- 議案第31号 令和5年度大山町開拓専用水道特別会計予算
- 議案第32号 令和5年度大山町国民健康保険特別会計予算
- 議案第33号 令和5年度大山町国民健康保険診療所特別会計予算
- 議案第34号 令和5年度大山町後期高齢者医療特別会計予算
- 議案第35号 令和5年度大山町介護保険特別会計予算
- 議案第36号 令和5年度大山町農業集落排水事業特別会計予算
- 議案第37号 令和5年度大山町公共下水道事業特別会計予算
- 議案第38号 令和5年度大山町風力発電事業特別会計予算
- 議案第39号 令和5年度大山町温泉事業特別会計予算
- 議案第40号 令和5年度大山町宅地造成事業特別会計予算
- 議案第41号 令和5年度大山町索道事業特別会計予算
- 議案第42号 令和5年度大山町水道事業会計予算

2. 事 件 の 内 容 令和5年度各会計予算の審査

3. 審査の経過及び審査の結果

令和5年3月3日に設置された、本特別委員会は14議案について付託を受けた。同日、分科会方式により審査を行う事を決定し、令和5年3月6日から5日間、審査を行うとともに、3月16日に全体会を委員全員で行った。

審査の結果、付託された14議案すべてを可とすべきものと決した。

4. 令和5年度予算の特徴

令和5年度大山町一般会計予算

一般会計予算は、合併後最大の総額 112 億 2,000 万円で、令和4年度当初と比較すると 2 億 2,000 万円 (2.0%) の増となっている。

(歳入について)

町税収入は、15 億 6,618 万円で、前年度比 3,492 万円 (2.3%) の増となっている。町民税や固定資産税の増を見込んでいることが主な要因である。

地方交付税は、50 億円で、前年度比 2 億円 (4.2%) の増となっている。普通交付税の社会福祉費や高齢者保健福祉費の増を見込んだことなどが主な要因である。特別交付税は 3 億円と見込まれている。

町債は、7 億 5,130 万円で、前年度比 1 億 9,200 万円 (20.4%) の減となっている。名和中学校技術棟改築事業の皆減による教育債の減や中山地区排水路改修事業の皆減による消防債の減が主な要因である。

(歳出について)

義務的経費は、人件費が 22 億 4,406 万円で、前年度比 663 万円 (0.3%) の増となっている。会計年度任用職員報酬や、退職手当負担金の増が主な要因である。

投資的経費のうち、普通建設事業費が 9 億 7,934 万円で、前年度比 3 億 4,666 万円 (26.1%) の減となっている。名和中学校技術棟改築事業などの減が主な要因である。

その他経費のうち物件費が、22 億 8,392 万円で、前年度比 3 億 3,095 万円 (16.9%) の増となっている。ふるさと応援基金事業の増などが主な要因である。

補助費等は、14 億 9,354 万円で、前年度比 3,821 万円 (2.6%) の増となっている。教材等購入費助成金の増などが主な要因である。

積立金は 2 億 5,078 万円で前年度比 4,948 万円 (24.6%) の増となっている。ふるさと応援基金積立金の増などが主な要因である。

主な新規事業としては、銀行の派出窓口廃止に伴い本庁、各支所の窓口に自動つり銭機能付きレジスターを導入する。

本町が積極的に進めている人口減少対策として子育て分野では、子育て世帯の経済的負担軽減に関わる新入学応援ギフト事業に 842 万円、教材等購入費助成金事業 2,097 万円、制服購入費助成事業 732 万円が計上されている。継続事業の給食費全額補助、修学旅行費助成金、高校通学定期券購入補助と合算すると 1 億 2,587 万円の経済的負担軽減となる。

地方創生推進交付金事業のなかで、DMO推進室設置に向けて観光地域づくり連携体制構築業務委託料 500 万円が計上されている。

大山梨選果場出荷体制応援事業で 3 kg レーンの改造工事費用として 2,111 万円を補助する。出荷数が増えることでふるさと応援寄付金の増加も期待される。

トイレ新設に向け、西坪展望公園では設計から工事まで、仁王堂公園では計画設計まで実施される。

特別会計については、以下の通りである。

令和 5 年度大山町土地取得特別会計予算

総額は、25 万円で前年度比 17 万円の増となっている。
主な要因は土地貸付収入の増で、全額を基金に積み立てる。

令和 5 年度大山町開拓専用水道特別会計予算

総額は、2,564 万円で前年度比 573 万円の増となっている。
一般会計から人件費の繰り入れが、主な要因である。

令和 5 年度大山町国民健康保険特別会計予算

総額は、21 億 6,183 万円で前年度比 2,170 万円の減になっている。
歳出では、40 歳から 74 歳までの国民健康保険被保険者を対象とした人間ドックの助成金 335 万円等が計上されている。

令和 5 年度大山町国民健康保険診療所特別会計予算

総額は、3 億 3,986 万円で前年度比 1,657 万円の増となっている。
名和診療所、大山口診療所、大山診療所にて、電子カルテ導入に関わる委託費用が 3 カ所合計 1,181 万円計上され効率化を図るとしている。
大山診療所と名和診療所の診療時間が、利便性を考慮して一部土曜日などの診療を開始する。

令和 5 年度大山町後期高齢者医療特別会計予算

総額は、2 億 7,142 万円で前年度比 1,127 万円の増となっている。
歳入では、主に後期高齢者保険料 1 億 8,317 万円で一般会計繰入金 8,752 万円が計上されている。
歳出では、主に後期高齢者医療納付金 2 億 6,802 万円が計上されている。

令和 5 年度大山町介護保険特別会計予算

総額は、22 億 9,943 万円で前年度比 6,767 万円の減であり、居宅サービス給付費の減額が主である。

令和 5 年度大山町農業集落排水事業特別会計予算

総額は、5 億 1,509 万円で前年度比 2,510 万円の増となっている。
主な要因は、電気代高騰を見越して、令和 4 年度比 1.5 倍の電気代を想定し 1,466 万円の増となっている。
日吉津村ほか 2 か町で共同運営している移動式脱水車について老朽化に伴う更新を行う。なお負担金は公共下水道事業特別会計と按分している。

令和 5 年度大山町公共下水道事業特別会計予算

総額は、4 億 7,381 万円で前年度比 9,222 万円の増となっている。

主な要因は名和处理区マンホールポンプ施設の改修工事 5,500 万円、電気代高騰を見越しての 1,064 万円の増と、移動式脱水車購入負担金となっている。

令和 5 年度大山町風力発電事業特別会計予算

総額は、3,963 万円で前年度比 8 万円の増となっている。

基金積立額は令和 5 年度末には 9,609 万円を見込んでいる。

令和 5 年度大山町温泉事業特別会計予算

総額は、828 万円で前年度比 333 万円の増となっている。

主な理由としては、源泉送泉ポンプ修繕工事 140 万円となっている。

また、令和 5 年度から入浴料の改定が行われる。

令和 5 年度大山町宅地造成事業特別会計予算

総額は、661 万円で 536 万円の減である。ナスパルタウンの完売に伴い、看板の撤去工事と施設維持管理料、新規分譲地の選定のための予算となっている。

新規分譲地については、候補地の選定もこれからである。

令和 5 年度大山町索道事業特別会計予算

総額は、2,280 万円となっている。

歳出の主なものは、リフト敷地借地料 814 万円、イベント負担金・補助金 309 万円などである。来場者数は前年度より増加がみられている。

令和 5 年度大山町水道事業会計予算

収益的収入は 3 億 185 万円、支出は 3 億 642 万円。資本的収入は 1 億 7,269 万円、資本的支出は 2 億 5,859 万円となっている。

漏水探知機に 437 万円を計上し、より漏水箇所の的中率を上げることで、コスト削減が期待できる。

以上